

IV. 機構・職員・予算

1. 機 構

A. 機 構 の 概 要

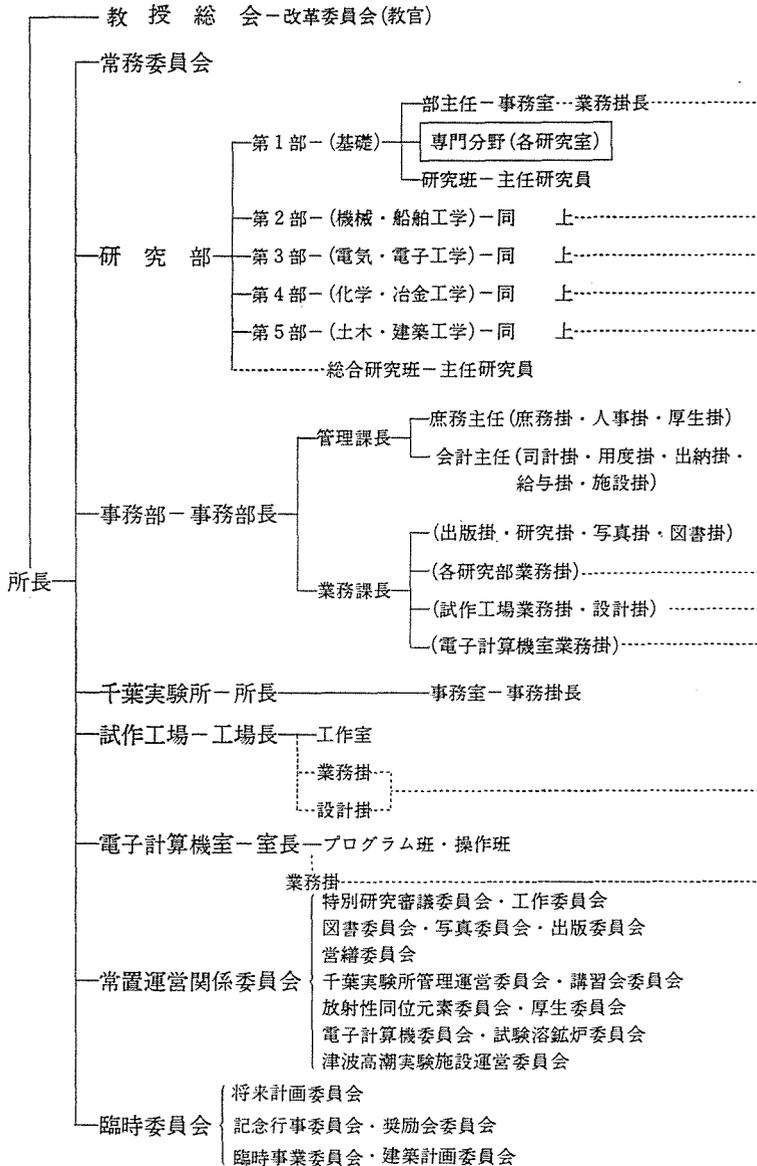
生産技術研究所は日常の業務遂行の面から、研究部と事務部に大別される。

研究部は、運営の便宜上、5部門に分かれ、部ごとに互選による2名の常務委員がいて部の日常の業務処理に当たる。常務委員のうち1名は、部主任として部を代表する。常務委員は、常務委員会を組織し、所長の諮問機関として毎月2回、必要によりそれ以上会議を開催している。研究部は研究室から成り立っており、また、その部の専門を適当に分類した専門分野表は1ページ「活動の概要」の項に掲げたとおりである。

本所の重要事項は教授総会で決議する。教授総会は教授・助教授によって組織され、毎月2回定期に開催している。ほかに教官同志の知識向上をはかる輪講会が毎月1回行なわれる。

そのほかに所員がそれぞれの専門的立場から組織する各種委員会、運営関係を担当する諸委員会がある。これらは各部から選出する教授・助教授または講師が委員となって構成されるもので、委員長は教授総会で選出されるものと所長委嘱によるものがある。その種類は次ページB. 機構図にあるとおりで、内容は巻末の委員会諸規定を参照されたい。

B. 機 構 図



2. 職 員

A. 現 員 表 (47. 4. 1 現在)

a. 職種別職員数

区分	教 授	助教授	講 師	助 手	技 官	事務官	技能員	用務員	合 計
職員数	41 *7	42 *1	8	84	178	105	8	14	480 *8

* 印併任

b. 諸系統別職員数

区分	研 究 系 統							事 務 系 統		技 術 系 統		技 能 勞 務 系 統				そ の 他		合 計	
	教 授	助 授	講 師	研 究 担 当	研 究 員	助 手	技 官	計 官	計 官	技 官	技 官	技 官	事 務 官	技 能 員	用 務 員	計 者	日 雇 者		計 計
職員数	41 *7	42 *1	8	9	50	84	18252 *8	97	97	122	122	38	8	8	14	68	11	11	550 *8

* 印併任

B. 職 員 名 簿

研 究 部

(教授・助教授(併任を含む)・講師・研究担当・研究員・助手まで)

第 1 部

官 職	氏 名	学 位	官 職	氏 名	学 位
教 授	一 色 貞 文	工 博	助 教 授	根 岸 勝 雄	理 博
”	大 井 光 四 郎	”	”	田 村 重 四 郎	工 博
”	鳥 飼 安 生	理 博	”	本 間 禎 一	”
”	山 田 嘉 昭	工 博	”	中 桐 滋	”
”	北 川 英 夫	”	”	小 倉 磐 夫	理 博
”	小 瀬 輝 次	”	”	岡 田 恒 男	工 博
”	成 瀬 文 雄	理 博	”	鈴 木 敬 愛	理 博
”	辻 泰	”	講 師	横 内 康 人	工 博
併任教授	森 大 吉 郎	工 博	”	菊 田 惺 志	理 博
”	富 永 五 郎	理 博	研 究 担 当	秋 葉 鎌 二 郎	工 博

研究員	齋藤	弘義	工博	助手	金片	子岡	幸邦	臣郎	理修
"	林鈴	主寬	理	"	森松	地本	邦重	郎暉	工修
"	藤末	寬聰		"	芳久	野田	年俊	男彦	工博
"	高山	七英		"	保田	浦木	敏敏	弘男	工修
"	輪加	富三		"	三高	關	忠志	郎太郎	"
"	小倉	勝公		"			松太郎		"

第 2 部

教授	鈴木	弘収	工博	研究担当	伯菊	野池	元英	彦一	工博
"	平亘	厚生	"	研究員	井菅	田谷	富勝	夫彦	"
"	水松	長正	"	"	矢吹	本成	隆直	豐尚	"
"	大石	康次	"	"	杉平	山味	浩直	道襄	工博
"	高柴	智幸	"	"	富五	村岡	浩直	努哉	"
"	川竹	忠規	"	"	木松	谷口	陽	信二	工博
併任教授	田森	政恒	"	"	梅山	田田	照道	行雄	"
"	植佐	壽一	"	"	前黑	倉林	義節	郎夫	医工
助教授	棚大	野内	"	"	小小	田木	周献	平次	医工
"	木前	久威	"	"	合荒	口田	泰俊	平文	"
"	中吉	敏晴	"	"	小坂	元	錫貞	文正	工博
"	增荒	甚一	"	"	除岩	元	文正	洪雄	"
講師	鈴安	浩良	"	"	原川	畑冶	文正	雄大	"
"	橋	藤	工博	"	塩小	嶋	震太郎	一郎	"

助 手	小萩生	林田石田	清善泰	市明三也	郎明三也	助 手	高古江藤	橋谷口谷	仲 國純	晃 貴弘	工 工 工 工	修 博 修 博
"	立 重	畑 本	達 和	彦 智郎	彦 智郎	"	阿 小	高 林	義 松	男 夫	"	"
"	小 岡	屋 藤	七 敏	郎 彦	郎 彦	"	天 福	野 岡	幹 富	男 郎	工	博
"	古 遠	田 山	真 正	一 一	一 一	"	森	新 五	新 五	恒		
"	永 西					"						

第 3 部

教 授	齋 渡尾	藤 辺上	成 守芳	文 勝夫	工 理 工	博 博 博	研 究 員	川 山伊野	橋 本藤	猛 真彦	工 工	博 博
"	安 濱	達 崎	襄 達	夫 二雄	"	"	"	岡 田山	坂 康三	卓 俊康	"	"
併任教授	野 山	村 口	民 楠	也 雄彦	"	"	助 手	横 藤	博 幸良	男 章嗣		
助 教 授	安 高	田 羽	靖 禎	雄 一雄	"	"	"	横 田	和 文	丸 助博		
"	藤 高	井 木	陽 幹	雄 明	"	"	"	稻 北	準 初	一 男子		
"	原 生	島 駒	文 俊	明 喬	"	"	"	市 栗	由 起	宏 之男		
"	濱 長	部 生		望 雄一	"	"	"	中 座	邦 知勝			
講 師	谷 麻	田 吉	忠 裕		工 博	博	"	市 川				
研 究 員					"	"	"					

第 4 部

教 授	淺 加野	原 藤崎	照 正武	三 夫弘	工 博	教 授	武 今館	藤 岡添	義 邦太	一 稔充	工 博	博
"	山 中	辺 村	亦	郎 夫	"	"	河 西	川 精	精	朗 一	"	"
"					"	"					"	"
"					"	"					"	"

助 教 授	原 善 四 郎	工 博	研 究 員	伊 保 内 賢	工 博
"	後 信 行 夫	"	"	荻 中 和 長	"
"	早 野 茂 夫	"	助 手	野 根 田 藤 上 山 藏 川 塚 利 柄 島 塚 瀨 田 中 川 山 井 智	"
"	明 石 多 尾 田 橋 石 木 妻 下 本 馬 辺 代 井 橋 島 内 井 木 田	理 博	"	佐 井 杉 大 長 篠 甘 鋤 豐 石 木 飯 堤 田 小 鳥 羽 高 明	"
"	妹 石 高 白 鈴 吾 松 山 相 渡 藤 坂 三 中 竹 川 高 飛	Sc. D 博 博	"	衣 世 子 光 洋 子 司 則 則 一 夫 揚 男 良 郎 滿 治 明	工 博 修 博
講 師		工	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	工 工 工 工 理 工 工
研究担当		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	博 博 博 博
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	博 博
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	博 博
研 究 員		工 博	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	工 博
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	" 博 博
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	工 博
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	理 工
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	工
"		工 博	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	"
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	"
"		工 博	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	工 修
"		"	"	則 武 光 喜 隆 秀 武 和 貞 昭 二 信 清	

第 5 部

教 授	丸 安 隆 和	工 博	助 教 授	村 井 俊 治	工 博
"	勝 田 高 司	"	"	片 山 恒 雄	Ph. D
"	久 保 三 郎	"	併 任 助 教 授	中 村 上 英 夫	工 博
"	池 保 慶 陽	"	講 師	村 中 村 高 田 治 見 谷 瀨 下 井 嶋 子 村 村	工 工 工 工
"	井 田 昌 平	"	研究担当	角 成 木 白 大 金 今 田	工 工 工
"	石 中 井 聖 光	"	研 究 員		Sc. D
助 教 授	三 木 五 貞 郎	"	"		博
"	村 松 貞 一	"	"		"
"	小 林 重 正	"	助 手		工 博
"	川 越 梨	"	"		
"	高 原	"	"		
"		"	"		

助	手	本	多	昭	一			助	手	重	信	恒	雄	工	修
"	"	佐	藤	暢	彦			"	"	宇	田	邦	明	"	"
"	"	伊	藤	利	治	工	修	"	"	朝	川	周	二	工	修
"	"	吉	野	文	雄	"	"	"	"	寺	生	道	仁	工	博
		半	谷	裕	彦			"	"	外	尾	知	德		

事務部 (事務系役付職員まで)

事務	部長	田	中	源	二	施	設	掛	長	石	井	三	郎
管	長	滝	沢	章	吾	出	版	掛	長	水	野	晴	明
業	任	杉	浦	勝	正	研	究	掛	長	佐	藤	良	稔
庶	任	浅	見	高	春	写	真	掛	長	安	田	哲	平
会	長	鶴	岡	為	彦	図	書	掛	長	池	藤		雄
庶	長	新	屋	輝	雄	第1部	第1部	業務	掛	遠	木	太	讓
人	長	佐	藤	重	整	第2部	第2部	業務	掛	鈴	田	忠	昂
厚	長	福	島	正	雄	第3部	第3部	業務	掛	石	永	博	郎
司	長	小	松	岩	幸	第4部	第4部	業務	掛	吉	永		司
用	長	飯	塚	淳	雄	第5部	第5部	業務	掛	吉	永		文
出	長	島	村	武	吉	千	葉	業務	掛	鶴	岡		彦
給	長	北	村		夫	事	務	所	長				
						務	務	長	(併)				

試作工場

工場	長	(兼務)	平	尾	収	助	手	関	豊	二
教	授									

電子計算機室

室	長	藤	田	長	子	Ph. D	助	手	田	端	正	久	理	修
(講師併任)														

年間異動

官	職	氏	名	発令年月日	備	考
講	師	鈴木	正吾	46. 4. 1	辭職	
"	"	横内	康靖	"	休職	
		横内	康久	"	講師	採用
		増沢	隆久	46. 4. 16	"	"
助	手	増沢	浩平	46. 5. 1	"	昇任
助	授	辻	泰一	46. 6. 1	教授	"
"	"	西	精一	"	"	"

講 師	中 根 千 富	46. 6. 1	助教授 昇 任
”	白 石 振 作	”	” ”
”	村 井 俊 裕	”	” ”
助 教 授	吉 田 恒 義	46. 7. 1	助教授(東京工業大学工学部)
教 授	植 村 義 之	46. 8. 2	教授 (東京大学工学部)
講 師	鈴 木 基 之	46. 8. 2	復 職
工 学 部 助 手	菊 田 恒 志	46. 9. 1	講 師 昇 任
助 教 授	川 井 忠 彦	46. 10. 1	教 授 昇 任
”	片 山 恒 雄	”	助教授 採 用
講 師	久 保 靖 靖	46. 10. 21	復 職
”	増 沢 隆 久	46. 11. 1	助教授 昇 任
”	久 保 靖 靖	47. 3. 1	” (静岡大学工学部)
教 授	森 脇 義 雄	47. 3. 31	停 年
”	沢 井 善 三 郎	”	”
助 教 授	中 根 千 富	”	辞 職
事 務 部 長	三 島 新	”	停 年
業 務 課 長	竹 内	”	”

C. 名 誉 教 授

故 井口 常雄,	瀬藤 象二,	故 友田 亘孝,	谷 安生,	星合 正治
故 岡 宗次郎,	故 渡辺 要,	福田 武雄,	高橋 武雄,	永井 芳男
福田 義民,	坪井 善勝,	菊池 真一,	星野 昌一,	関野 克
岡本 舜三,	江上 一郎,	星埜 和.		

3. 決 算 と 予 算

A. 昭 和 45 年 度 才 出 決 算 額

	金 額	百分率	百分率
総 額	1,024,228,906	100.00%	
職 員 給 与	637,513,441	62.24	
校 費	341,256,465	33.32	100.00%
研 究 部 経 費	221,744,707	21.65	64.98
各 部 研 究 費	104,713,700	10.23	30.69
特 別 研 究 費	90,678,800	8.85	26.57
特 殊 装 置 運 転 経 費	16,407,500	1.60	4.81
そ の 他	9,944,707	0.97	2.91
管 理 運 営 費	119,511,758	11.67	35.02

光熱水料	16,827,524	1.64	4.93
通信費	11,398,778	1.11	3.34
自動車管理費	1,858,913	0.18	0.54
暖房運転経費	2,997,345	0.29	0.88
会議費	1,025,456	0.10	0.30
庁舎営繕費	3,136,000	0.31	0.92
図書費	9,030,000	0.88	2.65
出版費	6,800,000	0.66	1.99
厚生経費	917,600	0.09	0.27
写真室運営費	256,872	0.02	0.08
試作工場運営経費	2,760,000	0.27	0.81
計算機室運営費	4,462,600	0.44	1.31
実験所運営費	9,177,000	0.90	2.69
事務経費	7,144,453	0.70	2.09
賃金	3,250,926	0.32	0.95
臨時経費	38,468,291	3.76	11.27
受託研究費	26,700,000	2.61	
受託研究員費	4,500,000	0.44	
職員旅費	5,939,000	0.58	
受託研究旅費	2,520,000	0.24	
各所修繕	5,800,000	0.57	

B. 昭和46年度才出予算額

	金額	百分率	百分率
総額	1,184,595,900	100.00	
職員給与	714,800,000	60.34	
校費	407,952,900	34.44	100.00%
研究部経費	296,580,900	25.04	72.70
各部研究費	117,234,000	9.90	28.74
特別研究費	149,794,800	12.64	36.72
特殊装置運転経費	19,511,100	1.65	4.78
その他	10,041,000	0.85	2.46
管理運営費	111,345,000	9.40	27.30
光熱水料	17,600,000	1.49	4.31
通信費	12,500,000	1.05	3.06
自動車管理費	1,910,000	0.16	0.47
暖房運転経費	3,700,000	0.31	0.91

会議費	1,050,000	0.09	0.26
庁舎営繕費	3,300,000	0.28	0.81
図書費	10,295,000	0.87	2.52
出版費	7,220,000	0.61	1.77
厚生経費	910,000	0.08	0.22
写真室運営費	200,000	0.02	0.05
試作工場運営費	2,200,000	0.18	0.54
計算機室運営費	3,500,000	0.29	0.86
実験所運営費	7,400,000	0.62	1.81
事務経費	8,020,000	0.68	1.97
賃金	2,920,000	0.25	0.72
臨時経費	28,620,000	2.42	7.02
受託研究費	36,322,000	3.07	
受託研究員費	5,660,000	0.48	
職員旅費	6,897,000	0.58	
受託究研旅費	4,020,000	0.34	
各所修繕	8,818,000	0.74	
受託研究謝金	153,000	0.01	

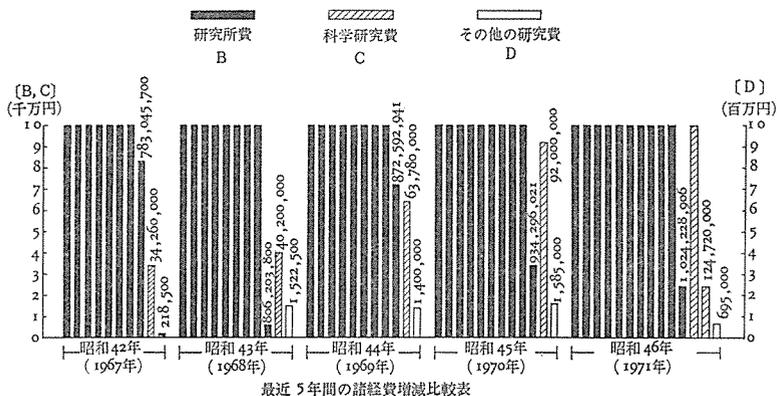
C. 文部省科学研究費関係 (昭和46年度)

総額	124,720,000
一般研究	96,830,000
奨励研究	1,610,000
総合研究	9,000,000
試験研究	10,380,000
特定研究	6,900,000

D. その他の研究費 (昭和46年度)

総額	59,163,372
文部省科学研究費分担金	695,000
奨学交付金	58,468,372

B + C + D 1,368,479,272



4. 昭和46年度のおもな記録

A. 教授総会開催日表

4. 21, 5. 12, 19, 6. 16, 7. 7, 28, 9. 1, 22, 10. 6, 20, 11. 17, 12. 1, 15, 1. 19, 2. 2, 16, 3. 1, 15

B. 各種委員会開催日表

委員会名	開催日 (臨)は臨時開催日
常務委員会	4. 7, 21, 5. 6, 19, 6. 2, 16, 7. 7, 28, 8. 11, 9. 1, 22, 10. 6, 18(臨), 20, 11. 4, 10(臨), 17, 24(臨), 12. 1, 15, 47, 1. 5, 19, 2. 2, 16, 3. 1, 15
講習会委員会	5. 11, 25, 7. 27, 10. 27, 11. 12, 47. 1. 19, 2. 16
放射性同位元素委員会	6. 17, 47. 3. 30
記念行事委員会	6. 18, 47. 2. 5, 28, 3. 23
改革問題全学案検討委員会	4. 7, 14, 16, 28, 5. 11, 26, 6. 2
事務機構改善委員会	4. 13, 5. 18, 6. 8
将来計画委員会	4. 14, 28, 5. 26, 6. 9, 23, 7. 14, 47. 2. 9, 23, 3. 22
改革委員会(教)	2. 14, 28, 3. 13, 27
奨励会委員会	5. 25, 6. 9, 8. 17, 31
試験溶鉞炉委員会	8. 12
出版委員会	4. 28, 5. 26, 6. 30, 9. 22, 10. 27, 11. 24, 12. 22, 47. 1. 26, 2. 23, 3. 22
工作委員会	6. 23, 7. 28, 9. 8, 11. 10, 47. 1. 12, 3. 29

特別研究審議会	4. 30, 5. 19, 10. 27, 11. 10, 47. 2, 9, 2. 23
電子計算機 委員	4. 28, 5. 26, 6. 30, 9. 27, 10. 27, 11. 24, 12. 22, 47. 1. 26, 2. 9, 3. 29,
写真委員会	4. 27, 12. 9, 47. 3. 14
試験溶鉱 委員	7. 2, 8. 12, 47. 3. 17
千葉実験所管理 運営委員	5. 7, 10. 8, 47. 3. 10
厚生委員	5. 21, 47. 3. 21

C. 輪 講 会

通し回数	題 目	講 演 者	開催年月日
402	鉛という金属の周辺	助教授 西川 精一	46. 4. 21
403	鋼製部材における局部座屈	助教授 高梨 晃一	46. 5. 19
404	ホログラフィーの計測への応用	教 授 小瀬 輝次	46. 6. 16
405	ロールフォーミング加工の諸問題について	助教授 木内 学	46. 7. 28
406	グラフィック・ディスプレイ装置について	助教授 山口 楠雄	46. 9. 22
407	ガラスの機械的性質について	教 授 今岡 稔	46. 10. 20
408	最近の基礎工法展望	助教授 三木五三郎	46. 11. 17
409	Fracture Mechanics (破壊力学)の進歩と最近の 諸問題	教 授 北川 英夫	46. 12. 15
410	船舶の運動性能からみた実船試験について	助教授 前田 久明	47. 1. 19
411	科学衛星「しんせい」の打ち上げについて一映画 と講演一	教 授 斎藤 成文	47. 2. 16

D. 日 譜

昭和	西暦	月日	行	事
46	1971	4. 19	インドネシア国立科学研究所	スマントリイ次長ほか2名来所見学
		4. 23	大蔵省	原主計官来所見学懇談
		5. 13	昭和工事(株)幹部社員	4名来所見学
		5. 27, 28	研究所公開, 研究室公開および講演, 映画会開催	
		5. 27	財団法人生産技術研究奨励会理事会, 評議員会合同会議	
		6. 23~25	第9回生研講習会開催	テーマ「工学における新しい化学計測」(公害対策の基礎知識として)
		7. 21~22	昭和46年度会計実地検査実施	
		10. 28	第1回臨時事業「都市における災害・公害の防除に関する研究」研究発表会	テーマ「都市機能の定義と都市災害防除の理念」, 「交通信号制御手法の問題点と今後の研究課題」
		11. 2	第2回臨時事業研究発表会	テーマ「地下埋設管の地震時挙動」, 「沈埋トンネルの解析」
		11. 16	本所運動会(主催, 弥生会)を中庭において開催	

- 11.16 韓国，京城大学工学部長他 4 名来所見学懇談
- 11.25 第 3 回臨時事業研究発表会テーマ「都市廃棄物処理対策開発研究の概要」，「都市廃棄物処理の実態調査報告」
- 12. 7 財団法人生産技術研究奨励会理事会，評議員会合同会議
- 12.17 第 4 回臨時事業研究発表会テーマ「建築物の耐震設計とその問題点」，「新設の動的破壊試験装置について」
- 47 1972 1. 7 財団法人生産技術研究奨励会臨時理事会
 - 1.25 第 5 回臨時事業研究発表会テーマ「ハイブリッド・シミュレーションによる交通流の解析」，「新設の交通流シミュレータとその臨時事業における課題」
 - 3.10 カナダ科学技術使節団（第 5 グループの 3 名）来所見学懇談
 - 3.22 退官記念特別講演会が開催された
 - 第 3 部 森脇義雄教授 題目「二工・生研の 30 年を振り返りて」
 - 第 3 部 沢井善三郎教授 題目「制御システムの疑問点」